

# 社協ネット ニュース

第4号

発行日  
2025年  
4月1日

## 社協ネット代表就任あいさつ

早春の候、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

去る2024年10月26日の総会にて代表としてご承認いただきました、三重県社会福祉協議会労働組合の関根と申します。若輩者ではありますが、精一杯努めてまいりますので、お支えいただきますようお願い申し上げます。さて、代表就任にあたり、私の考えを簡単にお伝えいたします。

総会や集会においては、皆様と共に学び、協議することが多くあります。議論のきっかけは各社協が展開している事業でありますが、事業そのものではなく、賃金や労働環境といった労働組合視点での議論に拘っていきたいと考えております。社協職員は熱い気持ちで事業を推進しているため、事業についての議論になりがちです。

せっかく労働組合として集まるわけですから、『事業を通して労働を考える』ことを忘れずに自治労の催物へ参加していただければ幸いです。

結びに、皆様の活動の助となるよう、各幹事と共に努力する所存でございますが、皆様におかれまして、積極的に社協ネットに関わっていただき、様々なご意見やご提案をお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。



社会福祉協議会労働組合  
ネットワーク代表  
関根正樹

### 社会福祉協議会

#### 労働組合情報交換会

2025年1月19日午後、前日から春闘討論集会に参加した社協組合員を中心に、22人で情報交換会が開催されました。

主なテーマは春闘交渉と非正規職員を含む、未加入者の加入の取り組みについてでした。春闘要求書への組合員の意見反映方法としてGoodworkフォームを活用したアンケートの工夫や、未加入への説明会の実施、声かけの工夫など、活発な情報や意見交換がされました。

いずれの単組も執行部の努力に敬意を表すると共に、組合を皆で盛り上げていく工夫が大切だと確認されました。引き続き組合員の力を結集していきましょう。



### 2025年度定期総会

2024年10月26日（土）、社協ネット2025年度定期総会を開催しました。2024年度の活動報告の後、提出議案である2025年度の活動方針、役員改選、当面の取り組みについて協議し、それぞれ全会一致で承認されました。あわせ

てこの役員改選をもって退任となる東北ブロック選出の鹿嶋俊彦前代表、続いて東海ブロック選出の関根正樹新代表が挨拶を行いました。運営が新体制へと引き継がれました。参加者の意見交換では、自己紹介・単組報告とあわせて、総会1か月前に発生した奥能登豪雨災害に関する最新の情報勢を共有。参加者で被災地の仲間思いを寄せることも、各自の派遣経験などを現地に状況、派遣業務に関する課題などについて話し合いました。

#### 2025年度役員体制

|      |             |
|------|-------------|
| 代表   | 関根 正樹 (東海)  |
| 事務局長 | 安藤 徹 (関東甲)  |
| 幹事   | 喜納 悠介 (北海道) |
|      | 山田 益寿 (東北)  |
|      | 明里 修平 (中国)  |
|      | 松本 祐一 (四国)  |
|      | 秋山 真輝 (九州)  |

# 2025年度介護・地域福祉集会にて分科会を開催



当日の動画講演の様子

2024年10月27日、介護・地域福祉集会において分科会を開催しました。本年度は「生活困窮者自立支援法（以下支援法）改正の社協業務への影響」をテーマとして、支援法の改正が社協の日常業務にどのような影響を及ぼすのかを学びました。

まず「支援法等の改正に関わる情勢について」と題して、全国社会福祉協議会地域福祉部長の高橋良太様から情勢報告をいただきました。当日は業務の都合でご出席が叶わなかったため、動画での

講演となりましたが、支援法の理念や改正の概要等について説明していただきました。

次に、熊本県の水俣市社会福祉協議会主任相談支援員の秋山真輝さん（社協ネット幹事）より、「水俣市社会福祉協議会における困窮者支援」現場から見た課題と展望」と題し、水俣市社協の困窮者支援についての取り組みと今後の課題などをわかりやすく説明していただきました。

その後のグループワークでは、「自立支援法対象者拡大に伴う業務量の増加について」をテーマに話し合いました。

「グループワークの時間が短かった」という意見が出るほど話し合いは盛り上がり、それぞれの現場で抱える課題や今後単組としてどう取り組むかを共有できる貴重な時間となりました。

次回の集会におきましても、多くの組合員と情報交換できるような分科会を企画していきたいと思っておりますので、皆様のご参加をお待ちしています。

## 仲間の紹介

### 熊本社会福祉協議会職員労働組合



熊本市社会福祉協議会職員組合は、正規・非正規合わせて32人の組合です。事務職、ケアマネジャー、ホームヘルパー、養護老人ホーム職員など、多様な職種で構成されています。

熊本市社協の経営状況は、多分に漏れず多くを自治体からの補助金や委託費に依存しており、厳しい状況です。

また、介護保険部門や養護老人ホームも、先の介護報酬改定の影響による収入減や定員割れによる大幅な赤字経営等、苦しい状況が続いています。

そのような中で、組合としては日々の業務に追われ、思うように活動ができない状況でしたが、2019年以降行われていなかった給与改定について粘り強く働きかけた結果、2025度にベースアップが実現する見込みとなり、明るい話題となりました。また、非正規労働者の処遇改善にも力を入れており、会計年度職員並みの処遇改善を図ることができました。

さらに、以前社協ネット副代表を務められた宮原氏が定年退職され、2024度より特別執行委員に就任いただきました。様々な視点からの助言をいただいております。今後の活動の活性化につながることを期待しております。

これからも、組合員一人ひとりの声に耳を傾け、働きやすい職場づくりを目指し、自治労熊本本部や熊本市役所職員組合との連携を密にし、県内はもとより、九州管内、全国の社協労組の皆様のご指導をいただきながら、微力ながらも尽力していく所存です。ともに頑張りましょう。